

月	週	単元	小単元・項目	時数	主な目標	重要 観点	評価方法	指導法の工夫	学習のアドバイス
4	1								
	2		身近な自然に目を向けてみよう	5	顕微鏡を適切に操作できる。	①③		・顕微鏡を可能な限り使用する。 ・大型TVの利用	
	3								
	4		1章 花のつくりとはたらき	5	花のつくりには共通点があり、種子をつくる生殖器官であることを理解する。	①③		・少人数での実験観察	
5	1	植物の世界	2章 根や茎のつくりとはたらき	3	葉脈の通り方、根のはり方、維管束の並び方に関連性があることを説明できる。 蒸散について説明できる。	①④			身近に咲いている花や植物に目を向け、花や葉のつくりのちがいを見つけてみましょう。スケッチの練習をして、よりわかりやすく表現できるようにしましょう。 顕微鏡の使い方を確実に覚えましょう。 植物も、私たちと同じように「生き物」であり、生きるためにたくさんの工夫をしている。どのような工夫をしているかみつけよう。
	2		3章 葉のつくりとはたらき	8	植物によって葉の形や葉脈にちがいがあることに気づく。 植物の光合成と呼吸について説明できる。	①②③			
	3		4章 植物のなかま分け	4	種子をつくる植物とが、いろいろな観点に基づいていくつかのなかまに分けられていることを理解する。種子をつくらない植物の特徴を理解する。	①②④			
	4		学習内容の整理	3		④			
6	1						中間テスト 期末テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度など		
	2		1章 いろいろな物質とその性質	8	物体と物質のちがいを説明できる。 金属に共通な性質と非金属について説明できる。 非金属で特にプラスチックの種類を押さえる。見ただけでは区別できない物質を様々な方法で調べることができる。	①④		・少人数での実験観察 ・安全の確保	ガスバーナーを安全に使えるようになりましょう。 試験管の加熱方法にもやり方ときまりがあります。実験を安全に行うために、実験のやり方覚え、きまりを覚えましょう。 身のまわりには、たくさんの物質があります。中には、目に見えない物質(気体)もあります。それらの物質の特徴や危険性をきちんと理解しましょう。 私たちはよく水を飲みます。しかしその水は純粋なものではなく、少なからず何かとけてこんでいます。水道水にも殺菌用の物質がとけています(見えませんが)。その他にも、身のまわりには何かとけている液体がたくさんあります。何がとけているんだらうかと意識しながら生活してみましょう。
	3		2章 いろいろな気体とその性質	5	ガスバーナーを適切に操作できる。 気体の発生法、捕集法、性質、同定法を説明できる。	①③			
	4		3章 水溶液の性質	5	溶けるとは溶質が均一に分散していることを説明できる。再結晶により混合物から純物質を取り出すことができる。飽和水溶液と溶解度について説明できる。水溶液の濃さについて濃度の概念と計算に習熟する。	①②			
7	1	身のまわりの現象	4章 物質の状態とその変化	7	物質が状態変化するときの、体積や質量の変化を正しく調べることができ、その関係を説明できる。 沸点・融点は物質によって決まっていることを理解する。蒸留について説明できる。	①③④			
	2		学習内容の整理	3		④			
	3			1章 大地が火をふく	6	火山の形とマグマの性質との関係について説明できる。火成岩の特徴について理解する。 火成岩を構成する鉱物の種類や、鉱物の割合と火成岩の色、鉱物の種類と火山の色や形との関係を説明できる。	①④	・少人数での実験観察 ・VTRの利用	地面にころがっている石はどれも同じように見えますが、色々な種類があります。どのようなちがいがあるかよく観察しましょう。 化石を観察して、地球の歴史を想像してみましょう。 地震とは何か。日本に地震が多いのはなぜでしょうか。地球の内部がどのようなようになっているかを想像してみましょう。
	4			2章 大地がゆれる	5	地震波の特徴や、震源(震央)からの距離と初期微動継続時間との関係を説明できる。	①②		
9	1	活きている地球	3章 大地は語る	7	地層(露頭)の成因について説明できる。堆積岩の特徴とでき方とを関連付けて説明できる。堆積岩に見られる化石から、過去の堆積環境や時代を推定できる。地球表層のプレートの動きから、日本列島の地下における地震発生の原因を説明できる。	①④			
	2		学習内容の整理	3		④			
	3			1章 光による現象	6	物体が見える理由を光の進み方と関連付けて説明できる。 凸レンズによってできる像の位置や向き、大きさと焦点との関係について説明できる。	①②③	・少人数での実験観察 ・VTRの利用	夜、目が覚めてトイレに行こうと思ったとき、真っ暗な部屋の中で何か物につまずいたことがあるでしょう。昼間はそこに物があるのが見えるのでつまずくことはありませんが、夜は、物はあっても見えません。光がないからです。 物が見えるということが、光とどう関係するのかを目のつくりと合わせて考えてみましょう。 身のまわりには音が出る物がたくさんありますが、どれも音の高さがちがいます。音の高低がちがう理由を考えてみましょう力を矢印で表す方法を覚えましょう。
	4			2章 音による現象	5	音が物体の振動によって生じることや波として伝わることを説明できる。 音の大小や高低と物体の振動との関係について説明できる。	①②		
1	1	光・音・力による現象	3章 力による現象	7	力のはたらきについて説明できる。 力は大きさや方向をもった量であることを理解する。 力を矢印で表すことができる。 面にはたらく力としての圧力を理解する。 水中にある物体に働く圧力と浮力について知る。	①②④	中間テスト 期末テスト 小テスト 提出物 発表 授業態度など		
	2		学習内容の整理	3		④			
	3								
	4								
2	1								
	2								
	3								
	4								
3	1								
	2								
	3								
	4								
計				105					